

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	2612
部名	保健福祉部	課名	地域医療課		課長名	近藤敏男
事務事業名	高度医療機器共同利用事業					
予算上の事務事業名	高度医療機器共同利用事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	12310		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます					
基本施策名	第3節 市民医療の充実					事業開始年度
施策名	第1施策 地域医療体制の充実					平成元年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	高度医療機器共同利用事業補助金交付要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
相模原南メディカルセンターに設置された高度医療機器を地域の医療機関が共同で利用する事業に対し助成し、医療資源の有効活用及び地域医療の向上を図ることを目的とする。					市民医療機関	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
共同利用高度医療機器(CR及びMRI)を地域の医療機関が共同で利用した。 ・稼働日 CR:月曜日から金曜日まで(祝日は除く) MRI:月曜日から金曜日まで(祝日は除く) 火曜日(午後休診日)は、保守点検、症例研究等 ・利用方法 CR:地域の医療機関でIP(イメージングプレート(X線エネルギー蓄積型蛍光体=IP))を使用してX線撮影し、撮影後IPを南メディカルセンターへ送り、画像処理装置を使ってフィルム化して各医療機関へ戻し、読影・診断を行う。MRI:地域の医療機関からの紹介により、相模原南メディカルセンターでMRIの撮影を行う。撮影の結果得られたフィルムを元に読影判定会において診断し、フィルム及び所見レポートを紹介元医療機関へ報告。これに基づき、紹介医療機関において診断・治療を行う。 ・稼働日数 CR 238日 MRI 231日						
6 関連・類似事業や他市の状況	市民病院や地域医療支援病院で実施しているケースが多い。					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	13,746	23,327	18,318	15,742	15,742	
一般財源	13,746	23,327	18,318	15,742	15,742	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	839	801	807	807	807	
事業コスト合計(a)	14,585	24,128	19,125	16,549	16,549	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	高度医療機器共同利用事業			対象名称(単位)	処理件数(件)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	14,585	24,128	19,125	16,549	16,549	
対象数	15,503	17,893	0	0	0	
単位あたり経費(円)	941	1,348				
前年度比		1.43				

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	稼働率（％）		指標式と指標の説明	稼働日 / 稼働予定日 × 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	472.0	479.0	469.0		
目標	472.0	479.0	469.0	471.0	471.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	処理件数（件）		指標式と指標の説明	処理件数合計	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	15503.0	17893.0	0.0		
目標					
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市内医療機関におけるCRやMRIなどの医療機器の設置状況や現在の機器の更新計画を踏まえて、将来のあり方について研究する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			医療機関や利用者の受益者負担のあり方（適正化）について検討する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			